

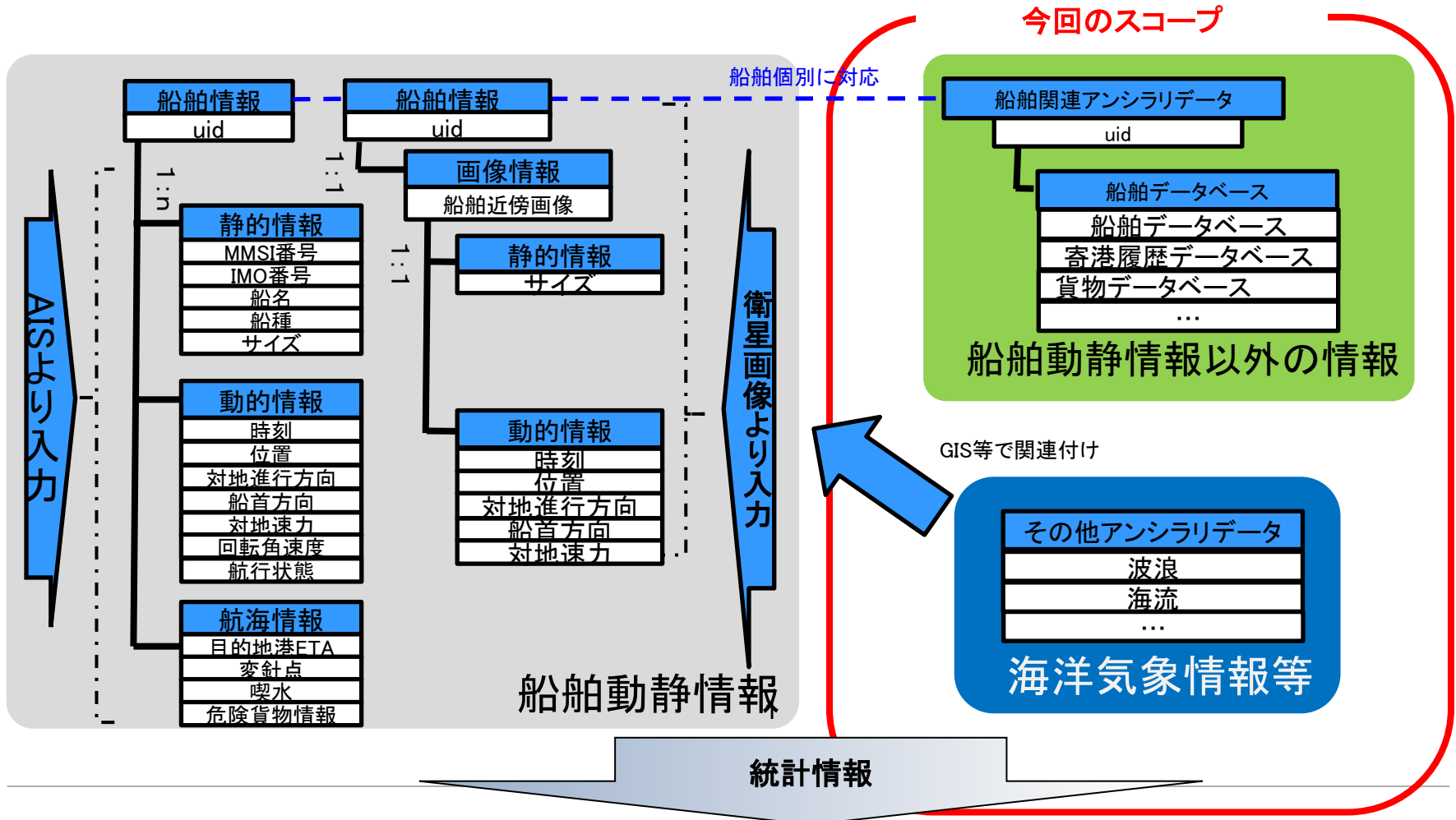
第一回 船舶情報に関する有識者会議
船舶に関わる情報の全体像について

2016年1月15日

これまでの検討と今回の議題

- AISデータと衛星画像から得られた船舶情報のフュージョンしたプロダクトを想定
- 船舶ユニークID(uid)で関連する情報を紐付けてデータを提供

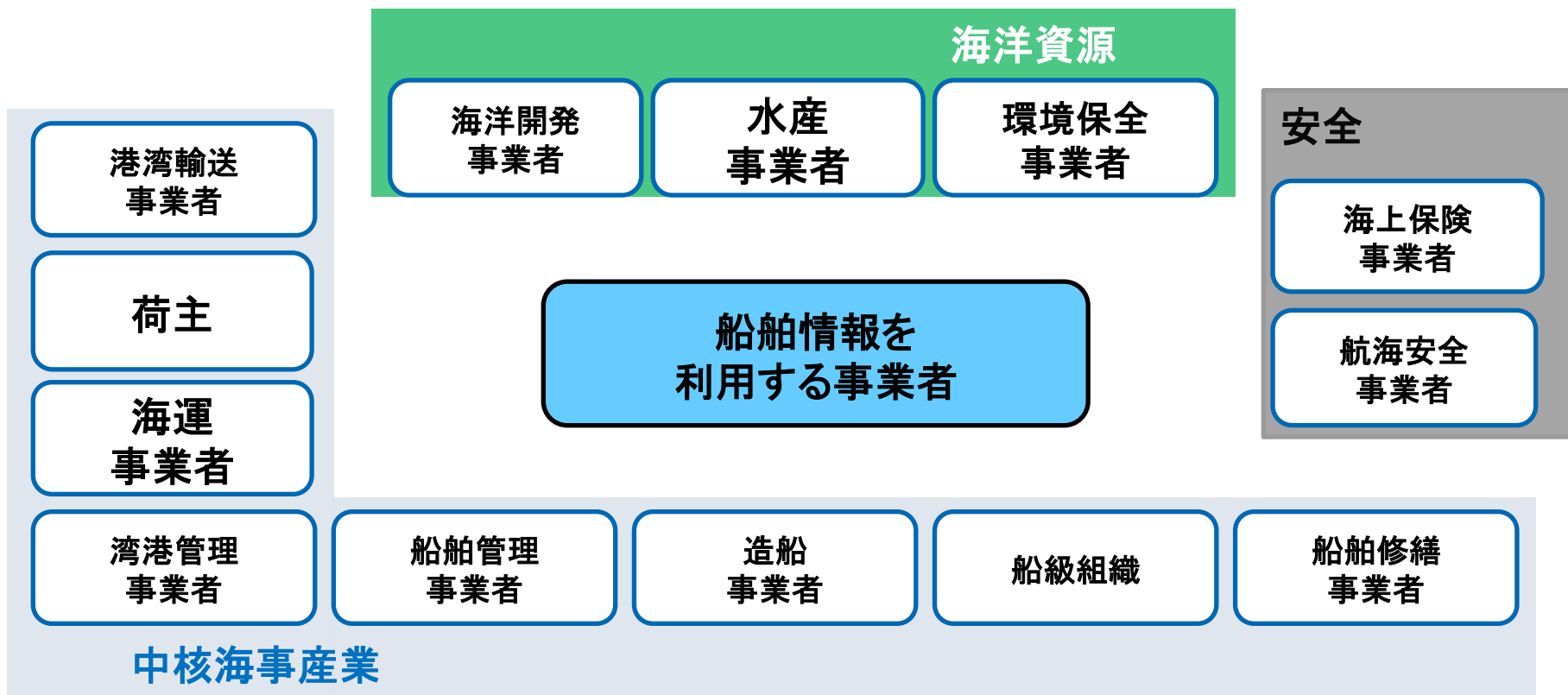
船舶動静情報の他に「何の情報が」「何のために必要なのか」といった検討が、なされていない
→今回の議論



船舶関連情報利用者の全体像

(想定)船舶関連情報利用者の全体像

現在、下図の様な事業者群が船舶に関わる情報を利用していると想定している



下図に含まれない

・主な船舶情報利用者群

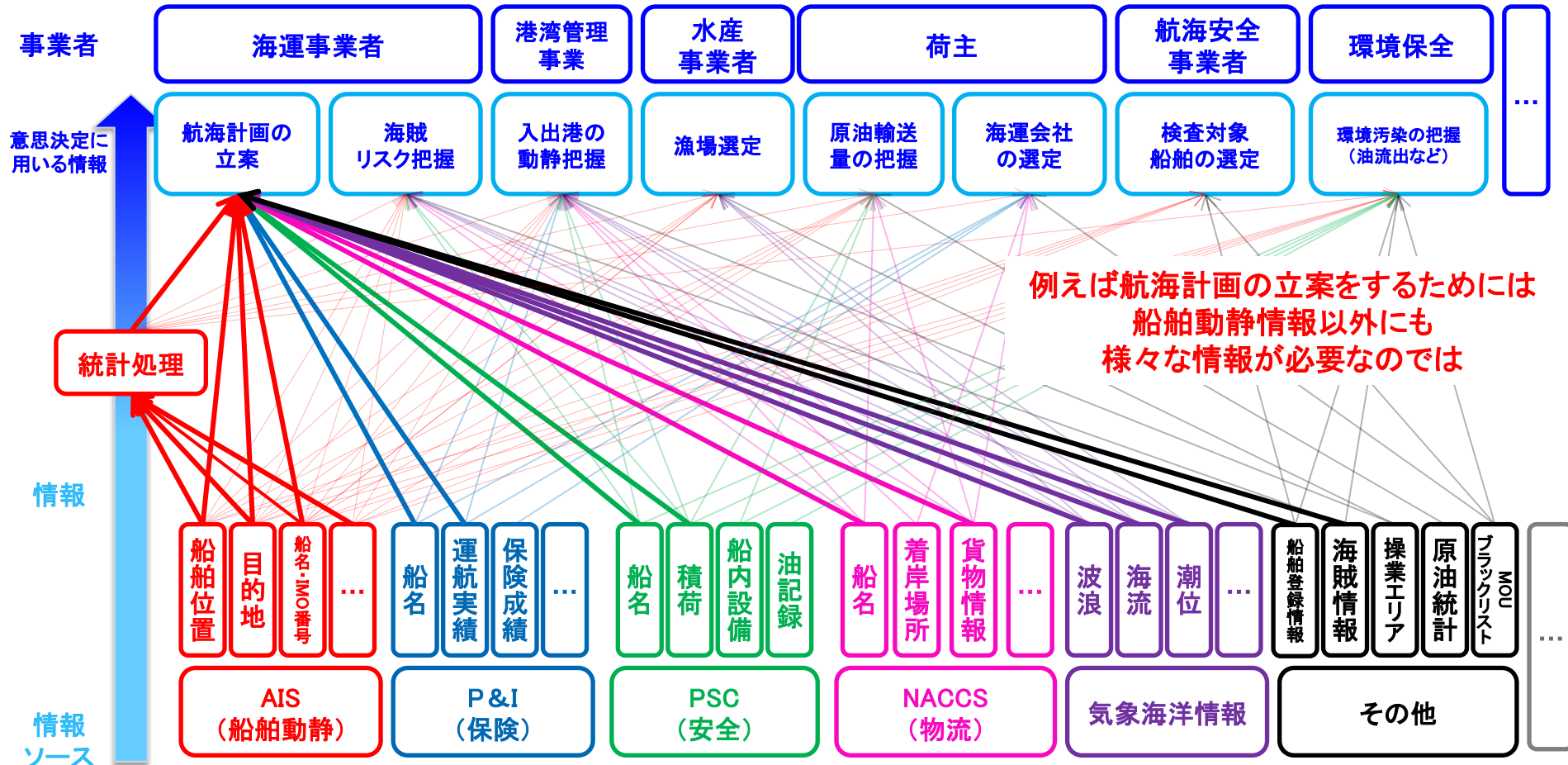
・船舶情報を最も利用している事業者

等についてのご意見を頂きたい

船舶に関する情報の全体像

(想定)船舶に関する情報の全体像

- 事業者が何の船舶情報を、何のために利用しているかを下記の様に想定
- 下図では船舶情報の大きな情報源およびシステムにはAIS、PSC、NACCS、P&Iを想定



このイメージ図のような、船舶関連情報利用の一連の流れを網羅的に把握すべく「何の情報を」「何の為に用いているか」ご意見を伺いたい

アンケート:利用している船舶関連情報について

- 全体像の把握にあたり、下記アンケートを実施し全体像として整理する

事業者名	現在			情報利用にあたっての課題 情報の有効利用の阻害要因
	情報利用の目的	利用する情報	情報ソース	
(例) 旅客船運行事業者	(例) 航路計画の立案	波浪情報	MICS	
			サーファー向けHP	
		台風情報	気象庁	同じ情報でも異なる情報ソースからの比較が重要だが、簡易に比較できない
			米軍	
			ウェザーニュース	
		水路情報	海上交通センター	
		航行警報	NAVTEX	
			NAVARA	
		電子海図	ECDIS	国際規約で厳密に決められているので勝手に仕様は変更できず、基本的に情報の重層はできない
		周辺船舶の動静情報	AIS	
			船舶レーダー	
		気象情報	ウェザーニュース	
		操業海域情報	港湾管理事務所	
			海上保安庁HP	
陸上レーダー				
海賊情報	ICC IMB Live Piracy Map	情報はメールでの受信か、サイトを閲覧して入手しており、他の情報との重層は難しい		
	シンガポールセンター			
目視	船員			
海流情報	気象庁			

上記の表に沿ったご意見を頂き、整理することで
現在そして将来の船舶に関わる情報の全体像を把握する

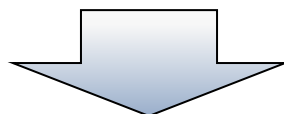
まとめと今後の予定

まとめと今後の予定

今年度は全2回の開催を予定

【第一回 有識者会議まとめ】

- ・現在検討している船舶プロダクトについて
- ・船舶関連情報利用者について
 - ・想定している船舶情報利用事業者の妥当性
- ・船舶に関わる情報の全体像
 - ・船舶に関わる情報には何があるのか
 - ・情報からどのような情報を読取っているのか
- ・情報を利用する際の障害要因や課題



継続調査・意見の集約

【第二回 有識者会議】

- ・船舶に関わる情報の全体像まとめ
 - 第一回を受けて、事業者が利用する情報の全体像を整理する
- ・障害要因や課題の整理

